

04

第4章 車の購入

～ペイメントオプションについて学ぶ

本講での学習のゴール（講義後に学生は以下の事項ができるようになっている）

- ペイメントオプションについて把握できている
- 自動車購入に伴う諸経費について知っている
- 高額商品の購入に関する収支管理上の留意点について理解できる
- ローン利用の pros and cons について議論ができる
- 起こり得べき事故を想定し、それにどう備えるか議論ができる

学習の狙い

FL 修得の基本概念である PBS (Planning, Budgeting, Saving) の理解がすべての基本となる。とくに高額商品であるほど、万全の情報収集と計画性が求められる。

また入手後の支出の見通しも想定費用を計算してみる必要がある。それらを理解の上で、費用対効果（満足度）について認識できるようになる。

この章の概要

バイク購入の費用を洗い出してみる。現在の貯蓄（資金）と、今後の支出予定を考え、購入の是非の意思決定を図る。購入時の諸費用や購入後のメンテナンス費用について理解することが大切である。

本講では実際の計算等を通じて、バイクの購入計画を立ててみる。

[Case 4-1]

学生のQさんははじめてバイクを購入する。色々悩んだ末に、やはり 250cc の新車の購入を決心した。あれこれと雑誌やネットで比較検討し、本命の機種は 45 万円前後。用意できる資金はバイトで貯めた 30 万円だが、できる限り費用を節約したいと考えている。購入にかかる諸費用がかなりあると聞き不安になっている。どれくらいの予算が必要かインターネットで調べ考えてみよう。

[Case 4-2]

Pさんは就活の結果、ようやく内定もきまり、以前に合宿免許で取得していた運転免許を生かそうと、さっそく車の運転をしたいと思い、自動車雑誌を読みあさって、中古自動車の購入を検討している。ほしい車は 3 年落ちの価格 70 万円だが、アルバイトでためた資金は 30 万円。目標には届かない。聞くところではカーローンの利用もできるようだが、決断を迫られている。あなたはどうか考えるか。

キー概念

- レモンの理論
- シグナリング
- 不確実性とリスク
- 保険
- 情報の非対称性
- モラルハザード

キー概念解説

レモンの理論：中古車購入では、車の品質の良し悪しの判断は極めて難しい。中古車を販売しようとする売り手は、高値をつけようとするが、買い手は整備不良の心配など、車の品質に疑心暗鬼になりがちで、買ったたこうとする。その結果、高値では売りにくいため、良質の中古車は市場から駆逐され、低品質のものだけが市場を席卷する。つまり売り手と買い手とのあいだに情報の非対称性が存在する。アカロフは、これをレモンの理論と名付けた。レモンとは特に質の悪い中古車のことをあらわす、一種のスラングである。

シグナリング：購入判断の指標となるもの。例えば、私たちは店構えがしっかりしていれば、ここで買えば信頼がおけそうだと判断するだろう。大学卒というのも労働市場においてひとつのシグナルとなり得る。広告宣伝をかけていることも、宣伝をかけても売れる見込みがある商品として戦略を立て販売していると考えられるのでシグナルとみることができる。中古車の購入では販売店の信頼性が重要である。走行距離や外観は判断可能であるが、修理や事故歴などは見た目ではわからない。保証もしっかりした店から購入することが重要だ。

不確実性とリスク：車の事故や火災はいつ起き得るかわからない。まさに不確実であり、生きていれば誰も自然とそうしたリスクに日々直面する。ただ、行動により、事故や火災にあう確率は高くも低くもなり得る。例えば、車に乗らない、火を使わないなど。しかし、多くの人々はそうもいかないので、リスクの低減化を図る工夫をする。保険はそれをビジネスとして提供するものである。

保険（入る人、入らない人）：危険回避型の人には保険に入る。しかも、より高い保障をのぞんでそれによる多額の保険料を払うことになる。たとえば自動車保険でも、万一の損害賠償に備えて対人無制限の保障タイプの保険を選択するだろうし、運転にやや自信がない人や、車が新しい人は車両保険にも加入するだろう。

情報の非対称性：リスクを受け取る保険料によって保障する保険会社は、実は個々のドライバーの運転技術を知っているわけではない。事故を起こしそうもない安全ドライバーと、

危険運転も辞さないドライバーを判断できるわけがない。そこで、保険料は平均的リスクを算出して保険料を設定することになる。その意味では、危険なドライバーは得をする構造があると言える。情報の非対称性の一例でもあるのである。そこで、調整的に、免許証の色で保険料を上下させたりする。

モラルハザード： 保険加入者が、保険の対象となる事故を故意に起こさせ保険金を受け取ろうとすることや、自らの不注意によって事故を起こしてしまったり、そうしようとする可能性を言う。世の中には保険金詐欺のような犯罪が存在する。しかし、詐欺かどうかを判断するには、現場検証などの多額の費用が掛かることも事実である。社会保険でもとくに医療の分野ではモラルハザードに近い事象がみられる。ごく軽い風邪症状でも病院に行き診察を受け薬を受け取る例は、保険加入により低額の費用で治療が受けられる利便性があると同時に、深刻な病気にかかる人に比べ、その診察時間を短縮させてしまう可能性や、また社会保険ゆえに多額の税金が投入され続けて国家の健康保険支出の増大を招くことになってしまう。

[Work 4-1]

自動車（乗用車）購入の妥当な時期について、予算や費用対効果を検討しベストプラクティスを検討し、意見交換し発表しよう。免許取得の費用についても、すでに取得した人の経験をもとに話し合ってみよう。

- 議論のポイント
- ・新車にするか中古にするか
 - ・年間の維持費用を考慮する
 - ・収入と借入れについてその是非も含め検討する
 - ・自動車購入による効果（ベネフィット）は何か
 - ・合宿免許の費用対効果は？

[Work 4-2]

中古自動車のディーラーに行ったとしよう。購入の際に自動車保険への加入をすすめられた。できるだけ節約したいが、保障内容によって支払金額に大きな差があることを知った。どの程度の保障の範囲でかけておくべきか意見交換をしてみよう。

- 議論のポイント
- ・保険の仕組みはどうなっているのか
 - ・補償内容について調べてみよう
 - ・節約のポイントはどこにあるか
 - ・保険会社による金額の差はどこからくるものか
 - ・保険料に運転車年齢や事故歴はどう関係するのか

自動車保険による補償の内容

名 称	内 容
対人賠償	被害者のケガに対する保険
対物賠償	被害者の財産に対する保険
搭乗者傷害	車に乗っている人、全てに対する保険
人身傷害補償	自分や家族、同乗者のケガを補償する
自損事故	ドライバーの単独事故でのケガを補償
無保険車傷害	相手方が保険非加入、当て逃げ時の補償
車両保険	自分の車のための補償
その他	ロードサービス、弁護士費用など

☆考えてみよう

車を買わないで借りるという選択

Car sharing

Rent-a-car

Student ID:

名前:

提出期限

月

日

[Homework 4]

すでにバイクや自動車を購入している友人や家族から、その年間にかかる費用や満足感について取材してみよう。

【取材メモ】